

兵庫県保険医協会北阪神支部・第29回総会記念講演 後援 伊丹市

日本の新しいがん医療

市民公開 入場無料

—低侵襲がん医療の役割—

昨年4月に神戸ポートアイランドで開院した「神戸低侵襲がん医療センター」理事長の藤井正彦先生に、最新の「切らないがん治療」についてわかりやすくお話いただきます。ぜひお誘い合わせの上、ご参加ください。

日時 **10月5日(日)** 14時30分～16時30分

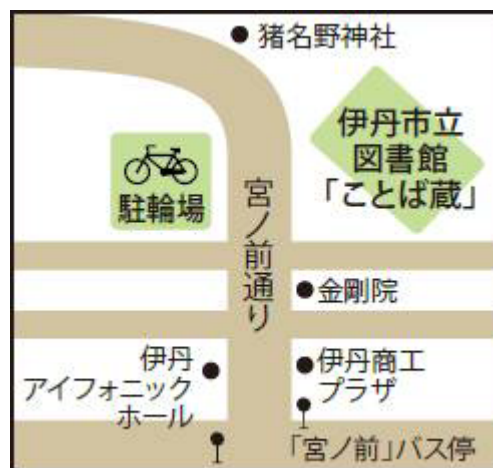
会場 **伊丹市立図書館ことば蔵** 地下多目的室1

講師 **神戸低侵襲がん医療センター理事長・病院長**

藤井 正彦先生



神戸低侵襲がん医療センターは、「小さく見つけてやさしく治す」を基本理念とし、切らないがん治療の専門病院として昨年4月に開院致しました。当センターでは、CT、MRI、PET-CTなど最新の画像診断や内視鏡検査などで、がんを出来るだけ早期に診断します。そして、サイバーナイフ、トモセラピー、トゥルービームという3種類の放射線治療装置を用いて、全身のどの部位でも、高精度の放射線治療を全て保険診療で行います。この他、抗がん剤治療やカテーテル治療、内視鏡治療など、外科手術以外のさまざまながん治療を提供します。また、退院後のQOLを維持するためのがんリハビリ、緩和ケアにも力を入れています。個室中心でプライバシーに配慮した療養環境を提供し、心身ともに患者さんの負担を最小限に抑える「低侵襲がん医療」を実践しています。【藤井 記】



※阪急・JR伊丹駅より徒歩約10分。
近隣の有料駐車場をご利用ください。

講師ご略歴 1982年神戸大学医学部卒業、1990年～91年米国Emory大学留学、92年三木市立三木市民病院放射線科医長、神戸大学放射線科講師・准教授・部長などを経て、09年神戸大学大学院医学研究科内科系講座放射線医学分野准教授・放射線科長、12年10月神戸低侵襲がん医療センター理事長・病院長、13年神戸大学客員教授、現在に至る

お問い合わせは、TEL：078-393-1807 小西・横山・小川まで

(切り取らずにご返信ください) **【お申し込み】 FAX: 078-393-1802**

- 総会議事(伊丹市立図書館ことば蔵会議室1 13:30～)に参加します ()人
 ■記念講演(伊丹市立図書館ことば蔵地下多目的室1 14:30～)に参加します ()人
 ■懇親会(ブルワリービレッジ長寿蔵 17:00～)に参加します ()人

地区 _____ 医療機関名 _____

氏名 _____

TEL _____ FAX _____

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2014年 8月25日号 No.239

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

～北阪神支部レクリエーション企画「丹波焼陶芸体験」～

焼き上がりがとても楽しみ♪



丁寧に指導する上中 稲右門氏

北阪神支部は6月21日、サンシティ伊丹で恒例のレクリエーション企画「丹波焼陶芸体験」を開催し、8医療機関から16人が参加。丹波焼陶工の上中稲右衛門(うえなか いなえもん)氏の指導を受けながら、参加者はそれぞれ湯飲みや茶碗・皿など、思い思いのオリジナル作品を製作した。参加者の感想を紹介する。

4歳の息子と参加しました。2人とも初めてでしたが、大変楽しくできました。できあがりを楽しみで、陶器がどんな風に焼き上がるのか、楽しみで楽しみでしかなかったです。また、できればぜひ参加したいと思います。

・山下榮人くん(4歳)の声「楽しかったです！」
 【伊丹市・えいと歯科職員 山下 三和】



オリジナルの作品作りに夢中



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
 日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。

TEL 078-393-1801 / FAX 078-393-1802 e-mail junki@doc-net.or.jp 担当;横山まで

会 員 投 稿 コ ー ナ ー ①

東の柏・西の宝塚で一緒にまちづくりを

宝塚市・良元診療所 脇野 耕一 先生

5月11日、宝塚医療生協主催、宝塚市・市医師会・市社会福祉協議会後援「長寿社会のまちづくりを考える講演＆交流会」が宝塚西公民館で開かれ180名が参加した。

第一部は、「活力ある超高齢社会をめざす『千葉県・柏モデル』」と題し、飯島勝矢・東京大学高齢社会総合研究機構准教授が、サッカーJリーグ柏レイソルで有名な千葉県柏市(人口40万人)での実証研究を基調講演した。



「長寿社会のまちづくり」をテーマに交流・報告が行われた

世界に先駆けた都市部を中心とした超高齢社会到来とその対応は、日本の危機でもあり機会でもある。「健康寿命」延伸のため、噛む力を含めた「食力」、過小でも過大でもない「運動」、そして「就労」を含む社会との絆・生きがいを継続するシステムをつくること。さらに、万一認知症・要介護状態になっても、安心して住み続けられるまちづくりのために在宅介護ネットワーク構築が重要である。WHO提唱のエイジフレンドリーシティには、柏市も全く同じ方向に進んでいると紹介。第一部の締めくくりに中川智子宝塚市長が「エイジフレンドリーシティは私の公約。具体的なイメージがわきました」と挨拶された。

第二部は、川窪潤二・宝塚市健康福祉部長、山本信也・宝塚市社協地区担当課長、村上茂樹・宝塚市介護保険事業者協会会長、今井信行・宝塚市医師会理事がパネリストとして報告。川窪氏は宝塚市エイジフレンドリーシティ検討、山本氏は社協のまちづくり、村上氏は250介護保険事業所からなる協会の取り組みを紹介。今井氏は、宝塚市における緩和ケア・在宅ネットワークの取り組みを報告した。

＊お知らせ＊ ■兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>

＊生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、おトクで安心な共済制度のご紹介、日々の協会活動のご報告を掲載しております。



会 員 投 稿 コ ー ナ ー ②

車の未来・自動で目的地へ

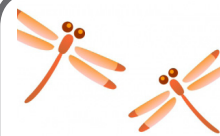
伊丹市・工藤歯科医院 工藤 大八郎 先生

医療法人として、16年が過ぎました。医療法人の経費はある意味限定されていて、自由度が少ないのが良くないところですが、唯一、自由になるのが車だと思っています。それでついつい、いろいろな車を見てしまいます。

皆さん、ご存知ですか？ 最近の車は、ぶつからない機能はもちろん、前の車を適切な車間距離で追走し、止まったり、道路上のラインを読んで、ステアリングの操作をしたり。自動で運転をするような技術がだいぶできてきています。

ただ、問題もあります。それは、きっと交通インフラの問題です。自動運転の車と、人が運転する車が混在するのは、難しいのです。つまり、もう少し技術が向上するのと同時に、自動運転用の車線がなければ、今後、難しいと思います。

私の夢は目的地を設定したら自動で着く車です。これがきっと未来の車です。



第325回幹事会だより

8月7日(木)伊丹市立産業・情報センター 会議室C

◆北阪神支部の会員数と組織率

8/4現在 医科324人(71%)、歯科171人(53%)

◆当面の支部活動

9月20日(土)第6回医療安全管理・院内感染対策研修会

「外来での医療安全管理・院内感染対策の基本」

伊丹市立産業・情報センター会議・研修室A 14:00～

10月5日(日)第29回支部総会

記念講演「日本の新しいがん医療—低侵襲がん医療の役割」

講師：神戸低侵襲がん医療センター院長 藤井正彦 先生

伊丹市立図書館ことば蔵 地下多目的室 14:30～(4面案内)

以上を開催予定

お問い合わせはTEL 078-393-1807 小西・横山・小川まで

健康情報テレホンサービス 通話料無料 (0120) 979-451

<9月のテーマ> 月曜日 高齢出産へのアドバイス 木曜日 ED治療の話
火曜日 定期歯科検診のすすめ 金土日 ホクロと黒色腫
水曜日 ぎっくり腰の話

